

2000

カイロプラクティック

HISTORY OF JAPANESE CHIROPRACTIC

日本の20世紀

JCA JOURNAL OF CHIROPRACTIC

No. 181

21世紀のカイロプラクターに贈るメッセージ



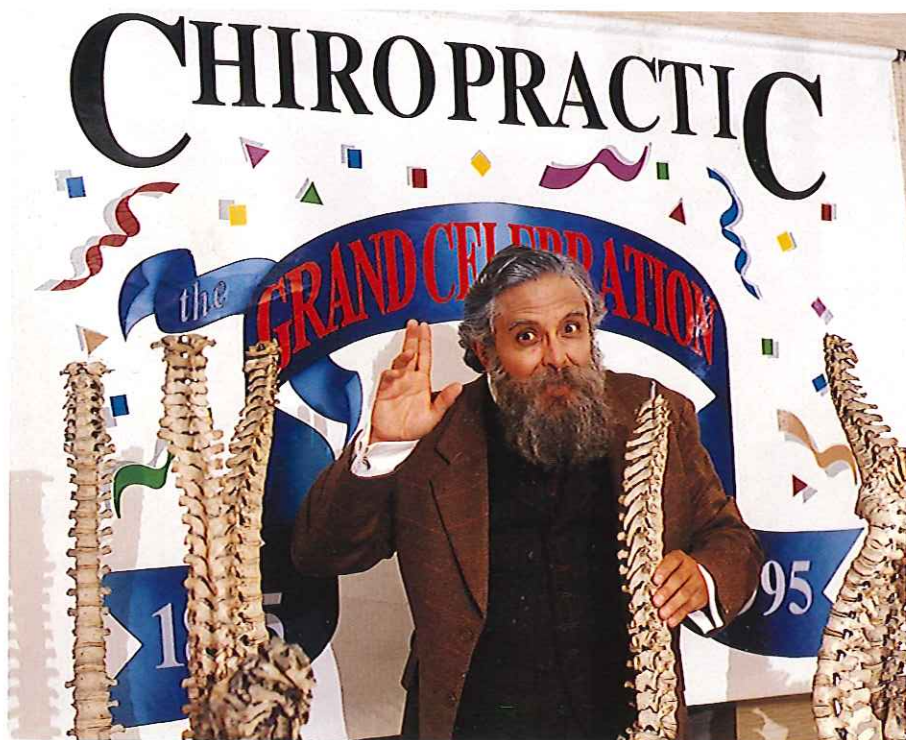
特集 1. グローバルスタンダードが世界の潮流
2. 日本のカイロ、20世紀10大ニュース



カイロプラクティック誕生百周年 世界中で誕生と発展を祝う

1895~1995

COMMEMORATING
100
years of
CHIROPRACTIC



カイロプラクティックは百年前の1895年、アメリカのダニエル・デビッド・パーマーがアイオワ州ダベンポートで創始した哲学・科学・技術である。

それから百年目に当たる1995年のこの年、世界中で誕生百周年の祝賀行事が行なわれた。JCAではアメリカのワシントンとダベンポートの盛大な百年祭に代表団を送り、百年の歴史を記録するカイロ史を発行し、横浜の学会で百周年の祝賀行事を行った。竹谷内一恵顧問は挨拶で次のように語った。

「カイロプラクティック百年の歴史はどこの国でも平坦ではありませんでした。だからこそ百周年を迎える意味は大きく、2世紀目に入る決意を皆様と共に新たにしたいと思います。日本にカイロプラクティックが紹介されて約80年、JCAの歴史が34年…を考えてみますと、私たちはカイロ百年のかなりの部分にかかわりを持ってきたことが分かります。この百年祭をきっかけに先輩たちの偉業と足跡に思いを馳せ、同時に21世紀の後輩にしっかりとバトンタッチする新たな決意にしたいと思います」。

2000年を迎えたカイロプラクティックは一層の国際化が進んで、より明確に人々の健康に貢献が認められよう。



THE VICE PRESIDENT
WASHINGTON

September 15, 1994

William F. Holmberg, D.C., President
Chiropractic Centennial Foundation
1000 Brady Street
Davenport, IA 52803-5287

Dear Dr. Holmberg,

It is with great deal of pride that I extend to you my heartiest congratulations as you begin to celebrate the centennial year for chiropractic. Your profession has made a significant contribution to the well being of millions of Americans over the past 100 years.

We, too, are proud of the fact that this profession is truly "American born" as it was founded in Davenport, Iowa.

I wish you, the thousands of Doctors of Chiropractic and your millions of loyal patients, from throughout the world, the best as you kick-off this centennial year celebration.

Sincerely,

Al Gore
Al Gore

アメリカのゴア副大統領からも
お祝いの手紙

Vice President
Al Gore sent
congratulations
to the chiropractic
profession



カイロが行なわれている世界各国の国旗を子供達が掲げて入場

カイロプラクティックは

WORLD FEDERATION



世界 (WFC) の時代に

OF CHIROPRACTIC



オークランドの総会 (1999年)

世界カイロプラクティック連合(WFC=World Federation of Chiropractic)は世界のカイロ団体代表が集まって1988年に結成された。それまでアメリカ中心のカイロプラクティックが、世界のものになったのがこの10年余りの特徴である。その後の発展は想像を越える勢いだ。

WFCは現在約70カ国の代表団体(米国を除き1国1団体)からなり、その目的は次のようである:

- ・ 国別と国際的団体との交流を通して、カイロと健康分野で、情報提供その他の協力を行う。
- ・ 統一された高度の教育基準、研究、業務を促進する。
- ・ カイロプラクティックに関して人々に正確な情報を伝える。
- ・ WFCに所属する国の代表団体の要望があれば、法制化問題の相談にのる。

WFCの組織は総会、カウンシル、執行委員会、大会の4つからなる。

総会は加盟国別全代表団体(会員)を招集して2年に1度行われ、すべての政策や重要案件を決定する。

カウンシル(Council)は世界7地域の代表が年に1度集まり、WFCの方針を策定する。7地域とはアフリカ、アジア、東地中海、ヨーロッパ、ラテンアメリカ、北アメリカ、太平洋。

執行委員会はカウンシルによって選任

される4名と、事務局(員)を統括する事務総長1名の5名で構成され、WFCの日常業務を遂行する。執行委員会は6週間に1度電話会議を行う。

2年に1度開催される大会は、総会と学術会議(scientific meeting)から構成される。過去の大会はトロント(1991)、ロンドン(1993)、ワシントンDC(1995)、東京(1997)、オークランド(1999)と

各地で行われ、次回はパリ(2001)を予定。

「カイロプラクティックはWFCの時代」を象徴するのは、①世界中のカイロプラクターによって支持・支援されている、②WHOに加盟が認められた、の2点に集約される。カイロプラクティックはいまや特定の国や個人のヘルスケアでなくWFC(世界)が舞台になった。

The WHO Establishes Official Relations with Chiropractic Profession



At its January meetings in Geneva, Switzerland the World Health Organization (WHO) has granted official status to the World Federation of Chiropractic (WFC) as an affiliated nongovernmental organization (NGO).

The WFC, formed in 1988, is based in Toronto, Canada, and is funded by its national chiropractic association members worldwide, including the ACA and ICA.

Goals of the WFC include working with the WHO and other influential organizations to promote increased international acceptance and utilization of chiropractic services.

"WHO recognition is extremely important for legalization and development of chiropractic practice in many countries," says WFC President Dr. John Sweeney of Australia. "This historic milestone resulted from the work of many people over the past five years. It also resulted from the strong support of

other NGOs, such as the International Council of Nurses, the World Federation of Neurology, and the World Federation of Health Associations."

Dr. Louis Sportelli, WFC vice-president and an ACA representative on the WFC Council, illustrates the importance of the WFC's recognition and the new level of acceptance of the chiropractic profession

ダイナミック・カイロプラクティック新聞

日本のカイロ、20世紀最大のニュース 日本に国際基準のRMIT大学日本校が開校



1995年4月16日開校

日本のカイロプラクティック最大のニュースは、日本のカイロ界に大きな一石を投じたRMIT大学日本校の誕生であろう。開校した1995年は、カイロプラクティック百周年に当たる祝福すべき年であった。開校の様子は世界のビッグニュースとして報道された。

RMIT大学日本校は、日本の業者団体JCA（日本カイロプラクティック総連盟）と豪州RMIT大学の間の提携によって実現された。準備期間は比較的短時間であったが、JCAの長年の実績が信頼に結び付き、計画は順調に進み調印式に至った。

4月16日の開校式を兼ねた1期生入学式には、WFCのスエニー副会長、カルバート豪州大使代理ホワイト参事官、クレイハンス教授、医学界からは日本大学名誉教授の鳥山貞宜博士、東京都老人総合研究所の佐藤昭夫副所長などそうそうたる人々をお招きし、新橋の日赤会館で厳粛に行なわれた。

日本校の竹谷内宏明校長（医学博士）は次のように挨拶した。

「本校の発展は日本の行政当局、医学界、マスコミ、一般大衆がもつカイロプラクティックの認識を変え、理解を深めることにつながると私は確信します」。

新入生を代表して真山美由紀さんは、「近年健康に関する関心がますます高まるなか、薬や外科を用いない自然治癒力を重視したカイロプラクティックの需要が、今後大きく期待されることを思うとき、全力を傾け、前向きな態度で勉学に取り組みたいです」と答えた。

国内のカイロ団体からは沢山の花輪、祝電、海外からはWFCのチャプマンズ

ミス事務総長を初め、カイロ業界の大勢の人々から祝辞が寄せられた。

RMIT大学日本校の最大の特徴は、①国際基準であること、②大学を名乗ること③DCと同じ学位を日本国内で授与できること、④教育で国際社会の仲間入りが認められたこと、などである。

またRMIT大学日本校は、豪州が日本で実施する初めての学位授与プログラムであり、開校にあつて豪州大使館の力強い支援もあった。



カルバート豪州大使(右)を証人に調印を行なった竹谷内日本校校長(左)とビーランドRMIT学長(中央)

海外でも報道される

ダイナミック・カイロプラクティック新聞

Chiropractic Education Blossoms in Japan — RMIT Unit Opens

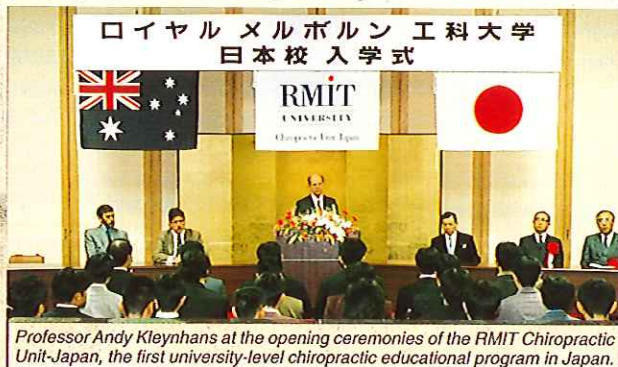
Dr. Joseph Janse Honored

TOKYO, Japan — The Japan Red Cross Hall, April 16th, 1995, was the site of the opening ceremony of the Royal Melbourne Institute of Technology (RMIT's) new educational branch, the Chiropractic

Unit-Japan. The RMIT chiropractic program is the first university-level chiropractic educational program in Japan since the profession was introduced to the country 80 years ago.

The Japanese and Australian national anthems commenced the ceremony, followed by a roll call of the

inaugural class of 39 students, and addresses by all special guests of honor, including: Professor Andy Kleynhans, head of the department of chiropractic, osteopathy and complementary medicine, at RMIT University; Terry White, representing the Australian Ambassador Ashton Colvert; Dr. John Sweaney, vice president of the World Federation of Chiropractic; Dr. Sadanobu Toriyama, honorary professor of Nippon University, School



Professor Andy Kleynhans at the opening ceremonies of the RMIT Chiropractic Unit-Japan, the first university-level chiropractic educational program in Japan.

Cont'd on page 16

RMIT大学日本校が開校して5年が経過。新入生や在校生も毎年増え、学年は1年から5年まで全学年が揃った。いま在校生は160名を数え、最高200名の収容能力をもつキャンパスに成長した。

現在のRMIT大学日本校のキャンパスを眺めてみよう。所在地は東京都内の一等地、新橋。東京駅や羽田空港からも至近距離にある。キャンパスは1995年の開校時には2フロア70坪でスタート。それがいまでは隣接する3ビルに9フロア約4百坪と5倍以上に広がった。2001年予定の第2外来センター開設によってキャンパス拡充計画は一段落する。

現在3つのビルを見ると、IKビルは事務・図書室が4、5階、1、2年の教室が2、3階で占められ、各階47坪ありキャンパスのメインビルを構成する。1、2年生用には50人収容の広い教室が用意されている。2番目のU-マックスビルの4、5階にはテクニック実技室とインターン訓練用実習施設・新橋外来センターがあり、各階56坪で実習ビルを構成する。3番目のSDビルの4階には3年、4年、5階は5年の教室に使用される教室ビル。3、4年は実習があるため教室を午前と午後を使い分けて使用。6階は

3年生用の学生クリニックとして実習に使われる。

日本校のプログラムは最初、ステージ1（3年間）とステージ2（2年間）の2段階制を取り入れ、それぞれの修了者に学位を授与した。これは10年以内に5年生の国際基準に合う約束のもとでの経過措置であった。日本校ではそれをはやめて開校6年目の2000年6期生から、5年制の一貫教育を行ない、卒業時に2つの学位を授与するダブルバチュラーズ方式（2つの学位同時授与）に踏み切った。過去5年間の実績で、日本でも国際基準が可能との判断があった。開校後2年目の1997年に採択されたWFC国際教育憲章は、将来のカイロ教育のあり方を示唆し、日本校は率先して国際憲章に合う方針を固めた。

日本校はカイロプラクティック科目では11名のDCを中心に、基礎・臨床科目では30名以上の外部講師を都内の5つの医学部、理学部から招き、4,200時間のカリキュラムをこなしている。講師の質は極めて高く、内容はRMIT大学の基準に合わせて進めている。独自の教育としては、海外から講師を招聘しての特別授業、3年生からの臨床実習、インテグレイテッド法、オスキーなど先端の教育技術を率先して取り入れている。



RMIT大学クレイハンス教授

今日まで日本校を暖かく見守り、指導してくれたのがRMIT大学カイロ学部主任教授のA. クレイハンス先生である。日本校の努力を高く評価し、常に励ましてくれたクレイハンス教授の存在なしに日本校は語れない。国際基準のプログラムを達成した日本校は、2000年末を目途に国際（ACCE）公認の大学をめざして準備を進めている。日本校のCCE公認はまた新しい時代を開くだろう。



RMIT大学日本校のメインビル・IKビル



1期生ステージ1終了の卒業式
於：オーストラリア大使館

特集 21世紀のカイロプラクターに贈るメッセージ

日本のカイロ発展とJCAの役割	Prologue	5
1. 歴史	Early Pioneers	14
2. 戦後のリーダー	Developers	20
3. JCAの誕生	JCA Born	28
4. JCA改革	JCA Restructure	34
JCA定時総会	JCA Convention	38
教養講座	Seminars	40
系統教育の開始	Certification Program	44
法制化への努力	Legislative Efforts	50
5. 国際化	International Involvement	58
6. 科学化	Research	78
7. 社会化	Social Involvement	89
8. カイロ業界の周辺	Legal Outsider	100
9. 日本カイロセミナー	JCA Seminars	113
10. RMIT日本校誕生ものがたり	RMIT JAPAN STORY	126
11. 年表	Chronology	129
編集後記	Epilogue	143

▶ 2000年を迎えた。あと365日で迎える21世紀は、どんな時代だろうか。カイロプラクティックに携わる人たちにとって、どんな未来が待っているのだろうか▶それを予想する手掛かりは過去10年の「流れ」に見ることができる。1990年にカイロは米最高裁で医師会に全面勝訴、医師とカイロプラクターの協力関係に新時代を迎える。その前年カイロ業界の国際組織・世界カイロ連合(WFC)が結成された。90年代、米英カナダなど国レベルの研究で、カイロの有効性(腰痛)が明らかになり、カイロ批判が激減。また90年代はカイロ大学が米国以外の国々で急増、その多くは総合大学に新設された。97年にWFCは、WHO(世界保健機関)に承認される▶米国民の3人に1人がカ

イロや鍼灸、ホメオパシーなど代替医療を受けている事が分かり、米国で代替医療がにわかに注目される。NIH(米国立衛生研究所)に代替医療部ができ、カイロ研究センターが置かれ、カイロの研究予算が倍増する。



風 鈴 歴史に学ぶ

凡苦楽

▶ この世界の「流れ」は、カイロに明るい未来を約束する。ただこれは世界の話だ。WFCはその流れを加速しようと、アジアの中心日本の東京で1997年世界大会を開催した▶だが世界の流れに逆って「日本のカイロ」を財団で築こうとした人がある。世界の「流れ」

に背を向けた結果は、DC団体の退潮、財団頓挫であった。WFCとの協力に失敗した「日本のカイロ」支持者たちは、いま時代の変化に流れようとしている▶代わって登場したのが日本のカイロを変革し、世界の「流れ」に乗る国際基準のRMIT大学日本校、そしてWFC加盟の日本カイロプラクターズ協会だ。彼らこそ21世紀、「世界のカイロ」の日本化に取り組む新しい人たちだ▶ジョージ・バーナード・ショウは「変化なしの成長はありえない。考えを変えられない人はなにも変えられない」と言った。「変化」を受容し、変化を恐れぬ人にのみ「成長」は訪れる。そしてその人たちはついに「日本のカイロ」の呪縛から脱し、「世界のカイロ」に21世紀を見つけた。